



第3期事業年度

(平成18年度)

決算報告書

平成19年6月

国立大学法人 信州大学

平成 1 8 年度 決算報告書

国立大学法人 信州大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,258	16,161	△97	注 1
施設整備費補助金	810	816	6	注 2
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	0	0	0	
補助金等収入	58	172	114	注 3
国立大学財務・経営センター施設費交付金	70	70	0	
自己収入	20,219	22,671	2,452	
授業料及び入学金及び検定料収入	6,893	6,873	△20	注 4
附属病院収入	13,153	15,387	2,234	注 5
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	173	411	238	注 6
産学連携等研究収入及び寄附金収入	1,460	2,238	778	注 7
長期借入金	1,432	1,432	0	
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	6	0	△6	注 8
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	40,313	43,560	3,247	
支出				
業務費	27,639	29,309	1,670	
教育研究経費	16,370	15,594	△776	注 9
診療経費	11,269	13,715	2,446	注 1 0
一般管理費	5,333	5,001	△332	注 1 1
施設整備費	2,312	2,318	6	注 1 2
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	58	172	114	注 1 3
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,460	2,104	644	注 1 4
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	3,511	3,501	△10	注 1 5
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	40,313	42,405	2,092	
収入－支出	0	1,155	1,155	

予算と決算の差異について

- 注 1 : 運営費交付金債務の取崩を行わなかったため、予算金額に比して決算金額が 9 6, 1 7 1 千円少額となっています。
- 注 2 : 補正予算により施設整備費補助金が交付されたため、予算金額に比して決算金額が 6, 2 1 6 千円多額となっています。
- 注 3 : 予算段階では予定していなかった補助金等の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が 1 1 3, 3 4 7 千円多額となっています。
- 注 4 : 授業料、入学料及び検定料収入については、受験者数及び入学者数が予定を下回ったため、予算金額に比して決算金額が 2 0, 9 9 2 千円少額となっています。

- 注 5 : 附属病院収入については、患者数の増、診療単価の増に伴う収入の増により、予算金額に比して決算金額が 2,233,883 千円多額となっています。
- 注 6 : 雑収入については、主として不用物品売払代の増等により、予算金額に比して決算金額が 238,647 千円多額となっています。
- 注 7 : 予算段階では予定していなかった受託研究や寄附金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が 778,414 千円多額となっています。
- 注 8 : 承継剰余金の支払いが生じなかったため、予算金額に比して決算金額が 6,000 千円少額となっています。
- 注 9 : 教育研究経費については、経費の節減に努めたほか、退職者の減及び配置見直し等による人件費の減により、予算金額に比して決算金額が 775,411 千円少額となっています。
- 注 10 : 注 5 に示した理由により、予算金額に比して決算金額が 2,445,671 千円多額となっています。
- 注 11 : 一般管理費については、経費の節減に努めたほか、退職者の減及び配置見直し等による人件費の減により、予算金額に比して決算金額が 331,798 千円少額となっています。
- 注 12 : 注 2 に示した理由により、予算金額に比して決算金額が 6,216 千円多額となっています。
- 注 13 : 注 3 に示した理由により、予算金額に比して決算金額が 113,347 千円多額となっています。
- 注 14 : 注 7 に示した理由により、予算金額に比して決算金額が 644,343 千円多額となっています。
- 注 15 : 予算段階の債務償還計画の見直しから、予算金額に比して決算金額が 10,176 千円少額となっています。